

科目名	心理学研究法	
担当者	神菌 紀幸 / KAMIZONO, Yoshiyuki	
科目情報	心理臨床<基礎> / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	現代の心理学においては、測定されたデータによって法則や理論を帰納することと、これら法則・理論からの予測をデータによって実証することの循環によって、生体行動を体系的に理解しようとする。この授業では、このような心理学的研究を行うための方法や原理を理解・習得することを目的とする。
	到達目標	心理学的研究の基本的な方法について学び、その理解を深めると共に、測定されたデータの解析方法について把握する。
授業計画	(1) オリエンテーション／イントロダクション (2) 心理学研究の論理とそのプロセス 実証のロジック (3) 研究の種類 実験的研究と相関的研究 (4) 実証のためのプロセスと考え方 (5) 実験的研究法 独立変数の操作 (6) 剰余変数の統制 統制の原理と必要性 (7) 従属変数の測定 測定の信頼性と妥当性 (8) 得られたデータの解釈と記述 主効果と交互作用効果の考え方 (9) 分散分析法 (10) 相関的研究法とその方法論 (11) 多変量解析の基礎 回帰モデルの考え方 (12) 重回帰分析の適用法 (13) 因子分析 (14) リサーチ・リテラシー データを読み取る力 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・心理学の研究方法について関連する資料や書籍に目を通して おき、意味のわからない用語は調べておくこと。
	事後学習	・参考資料等で必要な事柄についての理解を補っておくこと。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。必要な資料や教材は授業中に配布する。 【参】高野陽太郎・岡隆 編『心理学研究法』有斐閣アルマ2004年 ISBN 4-641-12214-8	
成績評価方法と基準	種々の心理学的研究法についての知識を持ち、それらについて論述でき、データ解析方法について理解を得ていることを合格の目安とする。筆記試験を課す。[授業への取り組み(受講態度など)40%/筆記試験 60%]	
備考	「心理学測定法」を履修済みであることを前提に授業は行う。	